

平成26年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

開講方式	Aタイプ (研究科 開講型)	研究科名	人間・環境学研究科 (視聴覚媒体と 文学の合体芸 術分析プロジェ クト)		カテゴリー	人文科学総合科目 群		横断 区分	文系横断型
授業科目名 (英訳)	動態映画文化論2			講義担当者 所属・氏名	人間・環境学研究科 教授・加藤幹郎		開講 場所	人間・環境学研 究科棟 333演習室	
配当 学年	修士 博士後期 専門職	単位 数	2単位	開講 期	後期	曜 時 限	水3限 (13:00-14:30)	授業 形態	講義
〔授業の概要・目的〕									
映画媒体がコンピュータ化され、視聴覚媒体たる映画芸術が絵画芸術や写真芸術や戯曲や小説等の文学芸術と音楽学と一体化されたものとして、今日にコンピュータ・アート期に入っているの、その複数の芸術領域を広範に分析して、芸術映画学による人間精神の本質を、以上の多様な合体媒体を通して分析します。									
【研究科横断型教育の概要・目的】 文学系、美学系、音楽系、絵画系、その他複数の横断的教育組織に所属している大学院生同士で相互議論しながら、芸術映画の解釈と分析を通して、人間の幸福な精神化をはかる芸術の本質を解明するのが目的です。									
〔授業計画と内容〕									
単なるジャンル物語映画のみならず、オペラ映画、絵画映画、風景映画、実験映画、その他、多様な映画史120年の卓越した映画作品を視聴して(サイレント時代にも音楽演奏は実施されています)、複数の専門院生同士で議論しながら、小生が芸術映画をまとめます。									
〔履修要件〕									
映画は文学や美術や音楽やテクノロジー等によって成立するので、そうした多様な専門カテゴリーの専門院生の出席が要件です。									
〔成績評価の方法・基準〕									
小生の講義(質問)に出席者たちの議論によって成績評価します。									
〔教科書〕									
加藤幹郎『列車映画史の特別講義-芸術の条件』(岩波書店、2012年)									
〔参考書等〕									
毎回、講義時間中に随時、複数の傑出した映画研究書を紹介します。									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
日本映画学会などに参加(無料)ください。									